

	利活用案	目的	施設の維持管理・河川管理上の観点や地形上の課題	整備内容（案）
1	親水公園・ビオトープ	こどもが水遊び出来る場所が必要。 こどもの環境学習できる場所が必要。	●水面までの高低差約4m。流れもやや早い。 →上流エリアは流れが緩やか。	◆水位が浅く、流れが緩やかなエリアへ、川の水辺まで下りて行ける階段護岸を設置し、小さな子供向けの親水エリアとして活用する。
2	中州の小島	花火を打ち上げるスペース。 カヤックなどの川遊び。	●水面までの高低差約4m。 ●治水計画上、最終的には全部撤去予定。	◆棧橋（潜水橋）については、流下の妨げとなることから他潜水橋を撤去している状況にある中、新たな橋を設置するより、飛び石で代替し、中州と飛び石をセットで整備することで、飛び石部分が親水エリアとなり、中州も活用できる。
3	棧橋	親水。中州へ渡る。 SUPがしやすい。	●棧橋（潜水橋）は大雨時に水の流れの妨げとなる。（現在ある橋も順次撤去している状況）	◆下流の仮設トイレは設置可能だが、大雨時の対応がセット
4	飛び石	親水。中州へ渡る。	●水面までの高低差約4mあるので階段護岸等で降りて、飛び石を渡って中州へ到着。 ●出水の度に土砂・塵芥の撤去や飛び石流出による再設置等の維持管理とあり、誰が実施するかを決めておく必要がある。	◆かわまち広場からのアクセスや安全性の確保（河川側への階段の設置）も併せて整備。 ◆管理棟内にトイレを整備すると、多目的トイレや手洗いも設置しやすい。 ◆下流の仮設トイレは設置可能だが、大雨時の対応がセット 設置箇所もグラウンドゴルフ同好会の設置しているトイレと近いと、当初は整備しないことも含めて併せて整理していく。
5	管理棟 トイレ	・管理棟 維持管理・安全管理・受付案内・休憩場所。また、倉庫やカフェ、物販、ダンスをするスペースを作るなど広場とあわせてにぎわい創出する。 ・トイレ（常設・仮設） 多目的（・手洗い・足洗いなどの機能が整備されると人が集まる。	●河川区域外のため、制限は少ない。 ●仮設トイレは、大雨時には流れの妨げとなるため、事前に撤去する必要がある。なお、堤防天端等河川区域では、いかなる場所でも大雨時の撤去及び日頃の訓練が必要となる。	◆規模の調整 千代田地区のイベントを参考にすると、100～200人の利用者が多い。利用者を150人と想定すると、車で来場するのは77.7%（LINEアンケート） →116人1車両2人として、必要台数59台（国交省の交通センサスを参考） ◆平日やイベント以外での利用者にとって、十分な収容台数であり、年数回程度の大規模なイベントは臨時駐車場や近隣学校などへの協力に対応する。
6	駐車場 （上流（西））	家族連れなど交通手段が車がほとんどである想定。 25台		
7	駐車場 （下流（東））	スポーツ大会や観光バスを想定。 85台・大型車		

	利活用案	目的	施設の維持管理・河川管理上の観点や地形上の課題	整備内容（案）
8	駐車場・ステージ（中央）	普段は駐車場。 イベント時にステージとしてにぎわいを創出。 新市の特徴をシンボル（備後緋） 消防で働く地域住民が緊急時のヘリポートを希望している。	●ヘリポートは消防局等の許可が必要。 ●Hマーク（ヘリポートのマーク）が必要となるので、かわまち広場のコンセプトと合致するのか。	◆逆坂路（上流に向かって進入する坂路）は、大雨時に川の水が坂路を上り、市街地へ浸水したり、堤防決壊の原因となることから設置しない。 ◆順坂路についても、上流・下流にあることから、新たに整備しない。（駐車場やイベントの荷下ろしなどには、上流・下流の駐車場から管理用通路を通っていける。） ◆消防局等と協議しながら緊急時にヘリコプターが離着陸できるスペースを確保する。
9	坂路（進入路）	大型バスが入れるくらいの広さ。 上流・下流のどちらから来ても入りやすくしてほしい。（逆坂路が無理なら、坂路のへの入り口（堤防道路部分）を拡幅することでUターンできるようにしてもらえれば便利）		◆上流に向かう車がUターンするため、坂路進入口を拡幅できないか検討したが、大規模な道路改修を必要とするため不可能と判断した。 ◆コンクリートで整備。 ◆上流坂路は傾斜の調整、下流坂路は大型バスが通れるよう上部を拡幅整備の必要があるかの確認。
10	広場（土）	近隣の学校の部活動やとんどなどで使用。 下流の駐車場に接していることから、臨時駐車場としても活用。	●防草対策が必要。	◆土ならではの活動があるため整備。
11	広場（芝生）		●散水施設が必要 堤防への影響がない施設配置が必要。	
12	広場（コンクリート） BBQ広場 複合コート レンタルパラソル	意見交換会等でBBQは人気があった。 こどもに人気のあるバスケやパルクール、スケボーなどの複合コートを設置。（学校からアクセスしやすい） 日よけがあることで、長く居れる空間になる。	●橋の下には水道管等が設置してあるため、橋の下で火器は扱えない。看板等で禁止行為を提示する必要がある。日よけとしてレンタルパラソル等を活用。 ●複合コートに設置するものは、仮設として大雨の前には撤去する必要がある。 ◆ボール等を使う際、橋梁及び添架物を考慮し、道路管理者に確認する必要がある。	◆BBQなどの需要も多いため、橋梁下以外で整備。 ◆橋の管理者である県と協議をし、BBQ以外のスポーツ（バスケ、パルクール、スケボーなど）のイベントにも対応できるよう広いスペースを整備する。
13	ウォーキング・サイクリング・ジョギングエリア	日常的なウォーキングコースにしてもらって広場に人がいる状態にする。 ペットの散歩コースで活用する。（LINEアンケートでも需要がある。） 千代田地区～府中市までつなぐサイクリングコースにしたい。	●広場を挟むようになる通路の幅を広げると必然的に広場が狭くなる。	◆通路の幅と広場のバランスを見ながら整備する。 ◆広場を広く使えるよう国の管理用通路との兼用についても検討していく。
14	照明	仕事の後（夜）にウォーキングしたい 夜でも安心安全にウォーキングやペットの散歩などが可能となる。 防犯。	●大雨時に流下の支障とならないような高さ、基数等の確認が必要。 ●電気配管は堤防断面外に付設。 ●浸水時のための防水機能が必要。	◆夜間の活動の安心安全のため、河川管理者と協議をしつつ整備する。

	利活用案	目的	施設の維持管理・河川管理上の観点や地形上の課題	整備内容（案）
15	土手アート 土手ベンチ 芝桜の植栽	映えスポットがあるとSNSで拡散してもらえる。 砂留をコンセプトとした石垣ベンチや動物をモチーフとしたベンチ（どちらも芦田町のスポット）で歴史や観光をアピールできる。 芝桜の開花時期に人が集まる	●芝桜の植栽の位置は、洪水時を想定して堤防の高い部分が望ましい。また、維持管理（防草シート等）が想定される。 ●芝桜は通常の芝より根が浅い。	◆ステージに近い堤防部分を階段ベンチとして整備。 ◆芝桜の根が浅いので、洪水時に川の水が来ない高い位置へ植栽する。
16	遊具・ベンチ インクルーシブ遊具	子育て世代が来るきっかけになり、ゆっくり過ごしてもらえる。 インクルーシブ遊具は、年配の人や障がいを持つ人が利用でき、健康増進・フレイル予防につながる。	●大雨の際、流木等引っかけられないための高さ制限等がある。	◆こどもだけでなく大人（高齢者）の利用を想定し、遊びや健康のための遊具を間隔等を5基程度設置する。
17	循環式ドライ噴水	猛暑による夏場の利用者減少を防止する工夫。 親水の観点。	●河川敷への設置の事例がなく、設置した場合の堤防への影響を計算する必要がある。	◆河川管理者と協議をし、堤防等への影響がないことを確認した上で、整備を行う方向で進める。